

土壌物理学会で受賞

有明高専
國崎さん

水の計測システム化で

有明工業高等専門学校専攻科一年生の國崎恒成さんが、土壌物理学会で優秀ポスター賞を受賞した。

「土の中の水分量と水の移動を計測する装置の研究成果をポスターにまとめて、学会の先生たちに発表しました。電子情報系の学生が、農業分野の学会で受賞したのは初めてです。実用化されると農業分野で飛躍的な進歩が期待できるので」と指導した石川洋平准教授。

國崎さんら有明高専の研究チームが、佐賀大学農学部と共同で、土の中の水分量を計測し、インターネ

ットを使い、計測場所と離れている場所でも計測結果が見られるシステムを構築。

従来のシステムでは計測装置を設置した場所に直接向かわなければならぬほか、計測装置が一台、数十万から高いものと数百万円」と高額で、安価に土の中の水分量を計測できるシステムが求められていたという。

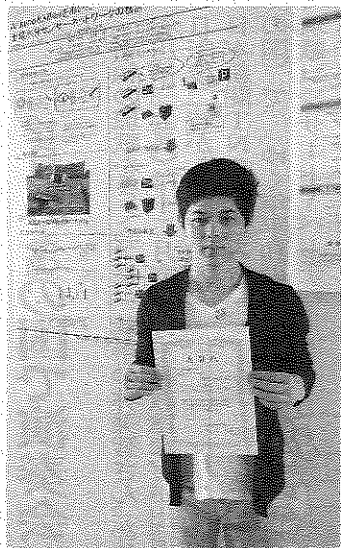
國崎さんは「現在、玉名市の農地で複数の地点で観測する実験を行っています。実用化できれば、例えば東日本大震災で津波を被った農地の塩分量が

分かったり、どの土地に、どんな農作物が適してい

るかの研究に役立つそうです。在学中に実用化できれば」と話した。

石川准教授は「文部科学省の補助金を活用した研究。来年には震災被災地の農地で実験する予定になっています。電子情報の学

問とは違う学会だったので、評価はどうかと思うていましたが、多くの先生たちが研究成果を熱心に聞きにいられたので、農業分野ではニーズが高いのだなど感じました」と語った。



優秀賞に輝いた國崎さん